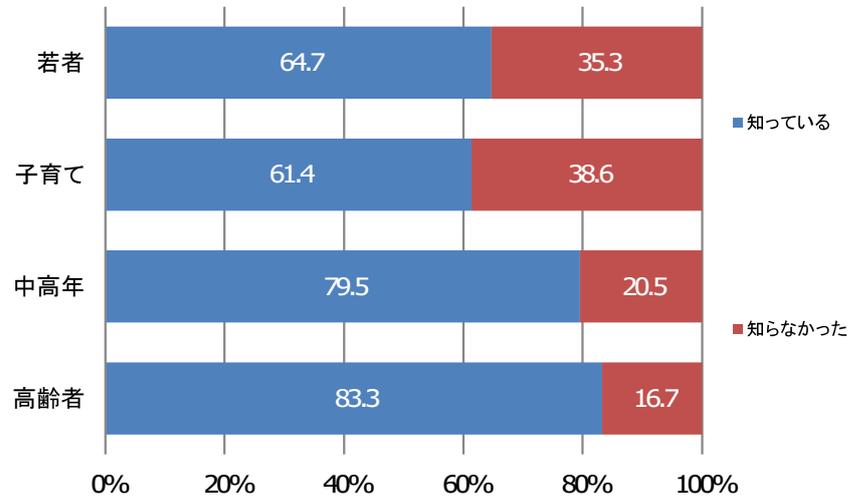
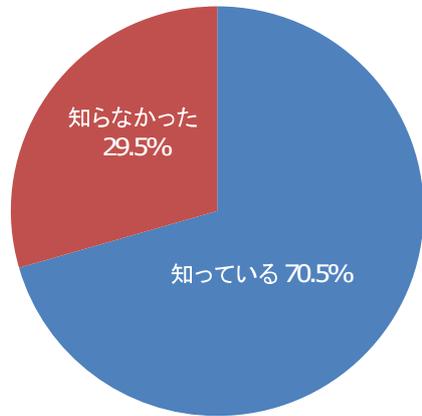


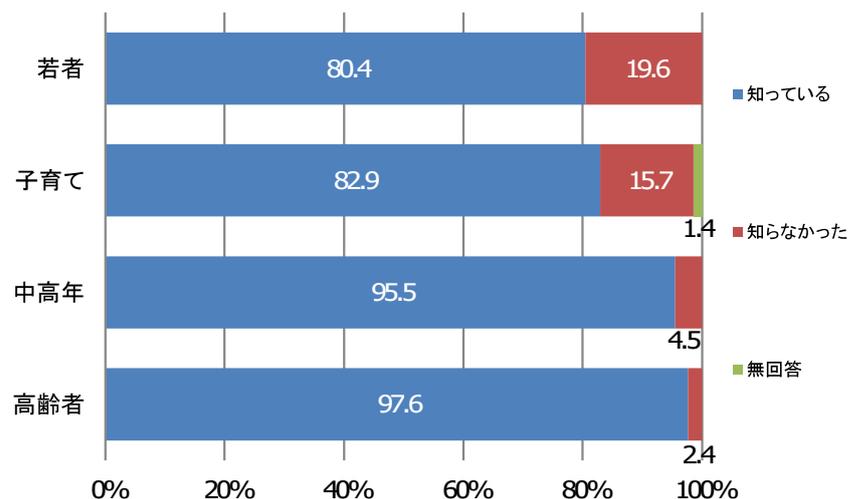
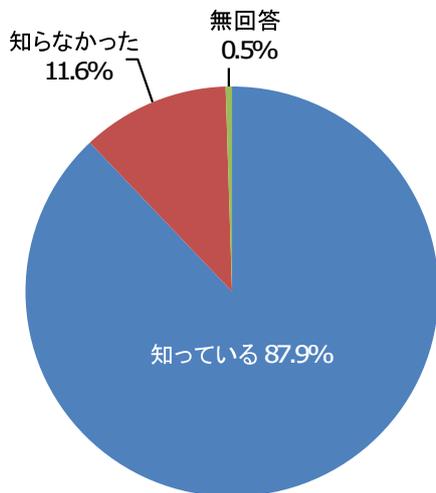
## <水道料金について>

### ■問1 水道事業は税金ではなく、利用者からの料金収入で運営していることの認知度 (N=207)



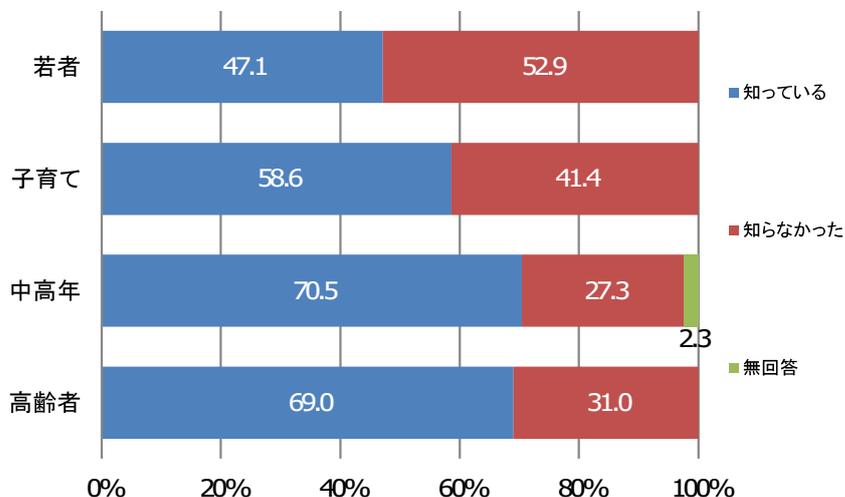
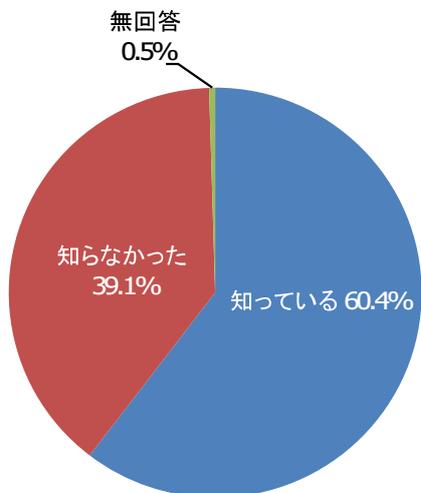
- 水道事業は税金ではなく、利用者からの料金収入で運営していることの認知度については、「知っている」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約6割、中高年・高齢者の約8割が「知っている」と回答しています。

### ■問2 水道料金が毎月固定の基本料金と、使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度 (N=207)



- 水道料金が毎月固定の基本料金と、使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度については、「知っている」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約8割、中高年・高齢者の9割以上が「知っている」と回答しています。

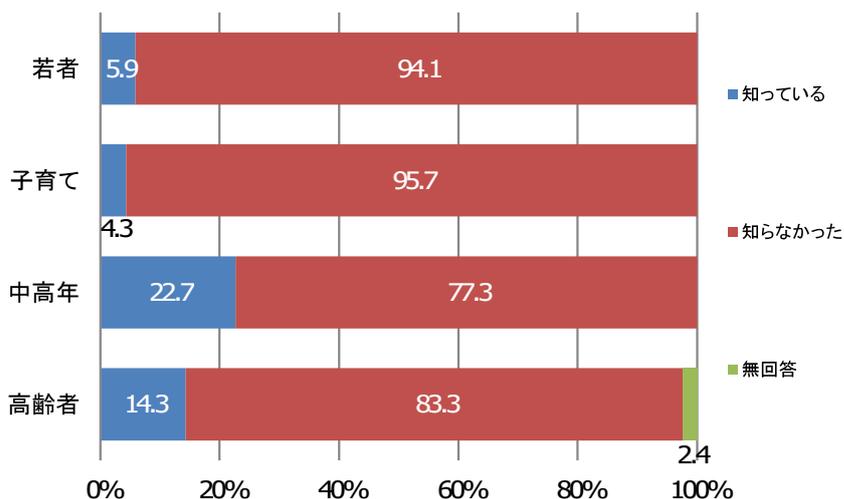
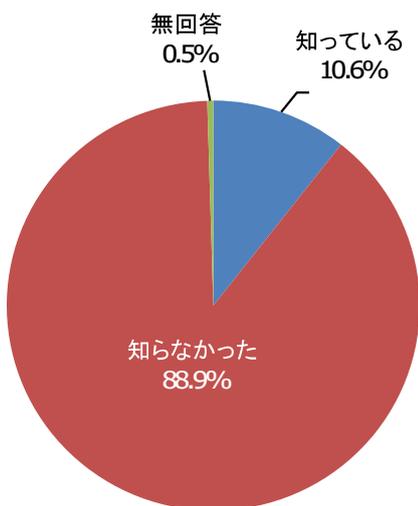
■問3 水道料金が光熱費(電気・ガス)や通信料金と比べて家計に占める割合が低いことの認知度 (N=207)



- 水道料金が光熱費(電気・ガス)や通信料金と比べて家計に占める割合が低いことの認知度については、「知っている」が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者の約5割、子育ての約6割、中高年・高齢者の約7割が「知っている」と回答しています。

■問4 浜松市の一般家庭の水道料金が他政令市と比べると安価であること※の認知度 (N=207)

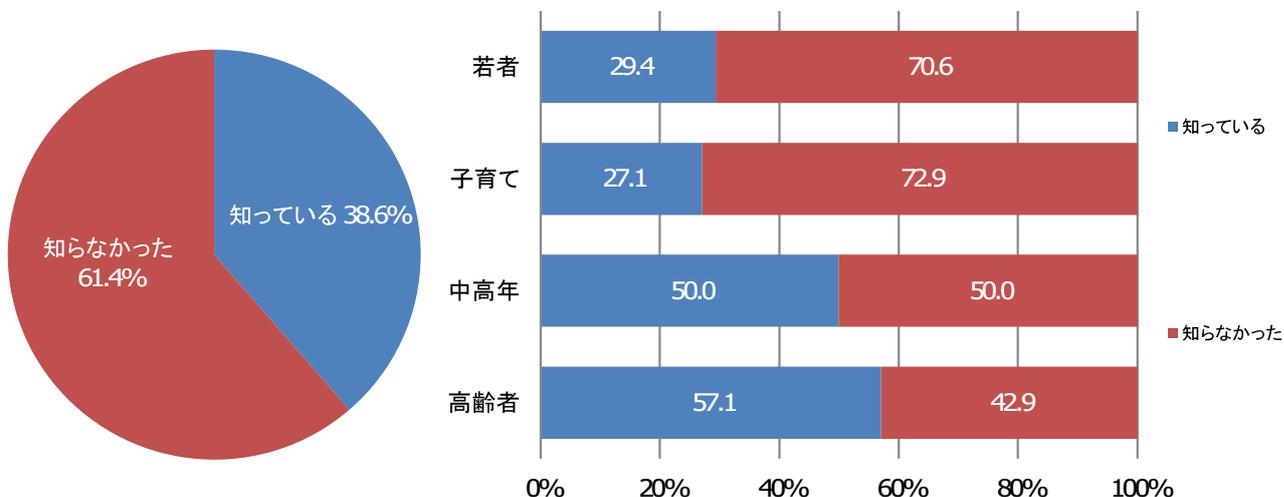
※ 水道事業を独自運営している18市のうち、浜松市は2番目に安い料金。口径13mmで月に20㎡利用した場合(令和3年1月1日現在)と比較すると、浜松市は税抜1,960円、政令指定都市の平均は税抜2,423円。



- 浜松市の一般家庭の水道料金が他政令市と比べると安価であることの認知度については、「知らなかった」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての9割以上、中高年・高齢者の約8割が「知らなかった」と回答しています。

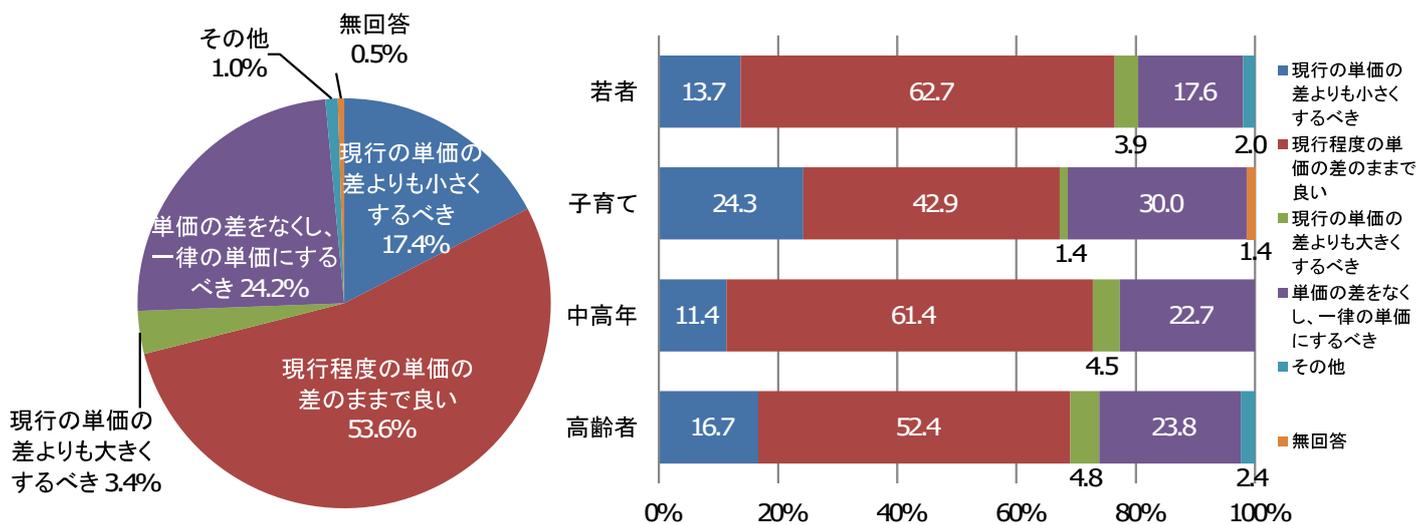
■問5 浜松市の水道料金は、使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系※であることの認知度 (N=207)

※ 最低単価: 税抜40円/㎡(10㎡まで)、最高単価: 税抜200円/㎡(500㎡以上)



- 浜松市の水道料金は、使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系であることの認知度については、「知らなかった」が約6割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約7割、中高年の約5割、高齢者の約4割が「知らなかった」と回答しています。

■問6 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うか (N=207)

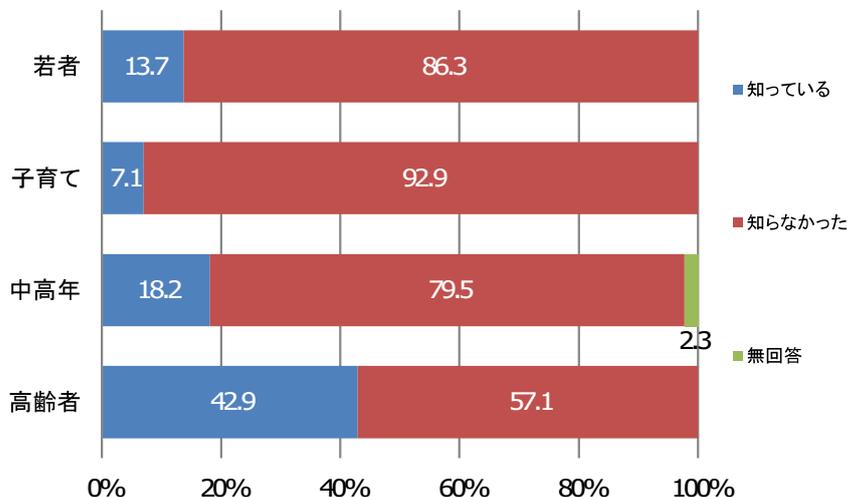
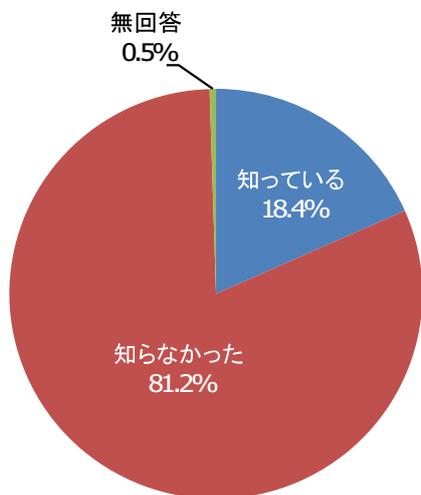


- 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うかについては、「現行程度の単価の差のままで良い」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年の約6割、子育ての約4割、高齢者の約5割が「現行程度の単価の差のままで良い」と回答しています。

## ■問7 水道料金収入が固定的な経費※のために大半が使われていることの認知度

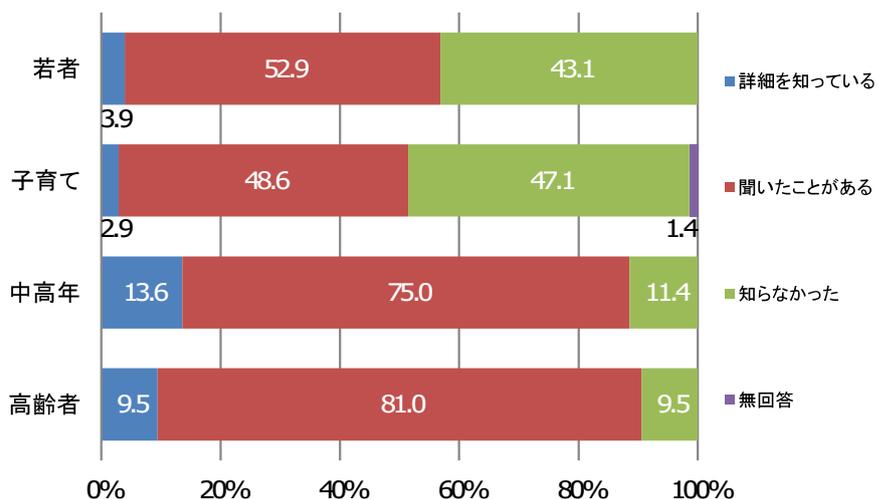
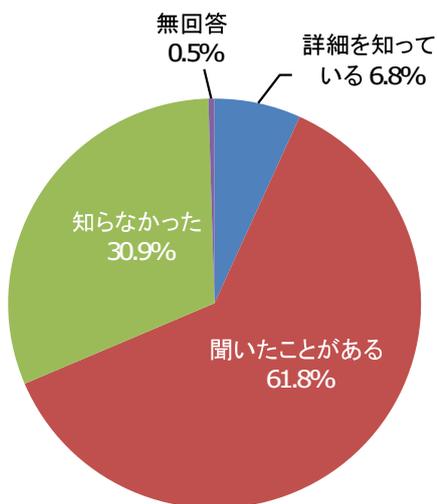
(N=207)

※ 過去の建設投資に対する費用や施設修繕費など



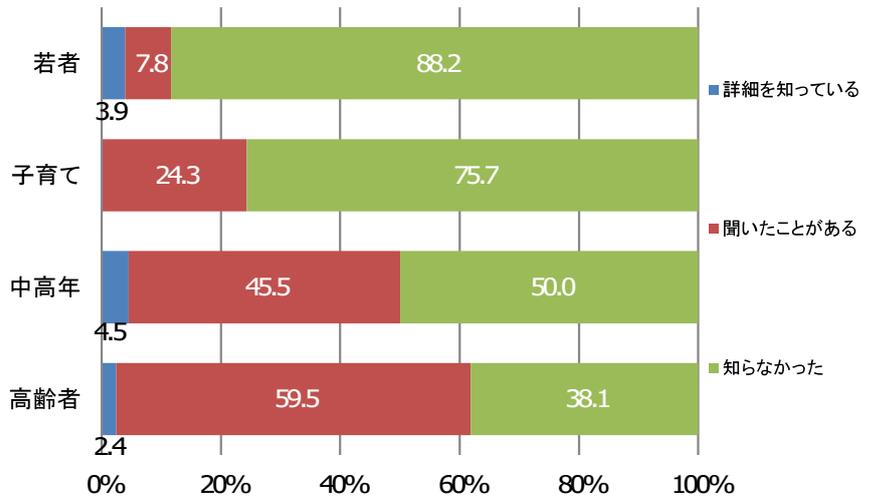
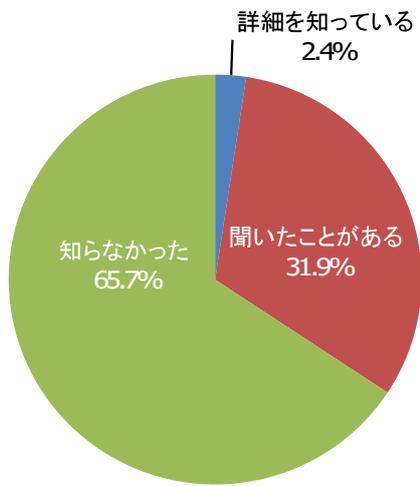
- 水道料金収入が固定的な経費のために大半が使われていることの認知度については、「知らなかった」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約9割、中高年の約8割、高齢者の約6割が「知らなかった」と回答しています。

## ■問8 近い将来、水道管が一気に老朽化を迎え、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度 (N=207)



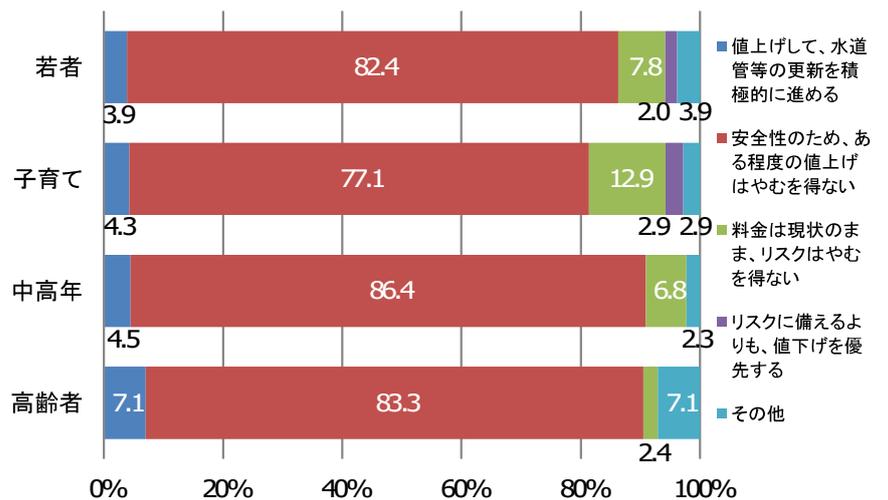
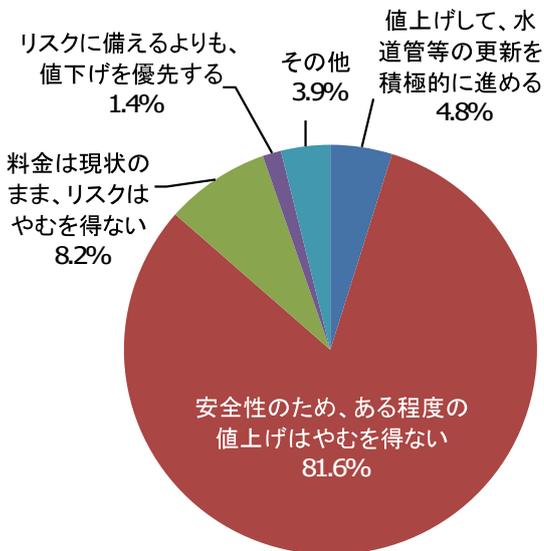
- 近い将来、水道管が一気に老朽化を迎え、日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度については、『多少なりとも知っている』（「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者の約6割、子育ての約5割、中高年・高齢者の約9割が『多少なりとも知っている』と回答しています。

■問9 今後、水道料金の値上げが必要との試算があることの認知度 (N=207)



- 今後、水道料金の値上げが必要との試算があることの認知度については、『多少なりとも知っている』（「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計）が約3割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて『多少なりとも知っている』の回答割合が高くなっています。

■問10 安全性確保のための水道管等更新と、水道料金の値上げのバランスについてどう思うか (N=207)



- 安全性確保のための水道管等更新と、水道料金の値上げのバランスについてどう思うかについては、「安全性のため、ある程度の値上げはやむを得ない」が約8割となっています。
- 世代別にみると、中高年の約9割、若者・子育て・高齢者の約8割が「安全性のため、ある程度の値上げはやむを得ない」と回答しています。